



オンラインセミナー
「建設未来フォーラム」企画のご案内

2023年1月

THE DAILY ENGINEERING & CONSTRUCTION NEWS

日刊 建設工業新聞

謹啓 時下ますますご清栄のことと、お慶び申し上げます。平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

日刊建設工業新聞社では建設産業の持続的発展のため2020年10月、創刊2万号記念事業として「建設未来フォーラム」を設立いたしました。地域や時間的な制約が少ないオンラインの特性を生かし、継続的な情報発信の手段として、建設産業に携わる各社とともに最新の情報などを伝えるセミナーを展開しております。

貴社事業を的確に伝える場として本事業を活用いただきたくご案内いたします。

つきましては、本事業の趣旨にご理解とご協賛くださいますようお願い申し上げます。

【事業実績】

◆2020年

① 11月10日 「残業45時間を突破（実現）する壁～Withコロナ 新たな時代の働き方～」

◆2021年

② 4月15日 「時代の要請に応えるビジネスの創生」

③ 9月10日 「新現場力～新たな仕事の取り組み。各地現場に即時に情報を届ける、最新BtoBアプリの活用」

④ 9月22日 「BIMで活用できる外国人材の採用と可能性について」

⑤ 11月10日 「今からでも遅くない！改正電子帳簿保存法対策」

⑥ 11月18日 「DX時代～これからの建設現場と働き方」

◆2022年

⑦ 1月27日 「BIMで儲ける仕組みづくりを徹底解説」

⑧ 4月18日 「次世代のために検討すべき事業継承・M&Aを活用した成長戦略とは？」

⑨ 5月24日 「建設産業の未来と建設DX」

⑩ 5月27日 「『SDGsで世界をつなぐ』出版記念 ODAにおけるSDGsへの取り組み」

⑪ 6月9日 「建設業に待ち受ける2024年問題。押さえるべき労基署対策の傾向とポイント」

⑫ 9月6日 「基礎から学ぶ助成金・補助金活用術」

⑬ 10月13日 「データ活用でネクストステージへ～竹中工務店と清水建設の取り組み～」

⑭ 10月27日 「IT導入補助金活用セミナー インボイス導入まであと1年！ 建設産業DX推進～インフラDXからオフィスDXへ PART 1」

⑮ 11月8日 「現場DXセミナー～日本を元気にする“現場力”を語る」

⑯ 11月29日 「IT導入補助金活用セミナー インボイス導入まであと1年！ 建設産業DX推進～インフラDXからオフィスDXへ PART 2」

セミナーの基本構成

実施日時・テーマ：お打ち合わせの上、決定いたします。

セミナー時間：60分程度を想定としています。

参加(視聴)方法：Zoomを使用したオンラインセミナー

参加者：小紙社告、告知広告、ニュースサイト内告知などにて募集いたします。

協賛：貴社 主催：日刊建設工業新聞社

告知・集客

- ・小紙社告ほか広告スペースなどを活用し、参加者募集を図ります。
- ・小紙ニュースサイト内に特設サイトにて、参加者申し込み受付を行います。
【使用メディア】・社告 ・広告 ・ニュースサイト バナー広告 ・メルマガ配信 (約2,600件)

特設サイト

- ・小紙サイト(月間PV約50万)にセミナー告知バナーを設置、特設サイトへの誘因を図ります。
【構成】
- ・趣旨および実施概要(テーマおよび講師紹介)・貴社指定サイトへのリンク
- ・参加申し込みフォーム※申し込みフォームの質問項目(取得情報)は、貴社とご相談の上設定します。

セミナー進行(例) ※実際の進行は、ご希望に合わせてカスタマイズいたします。

《受付》特設サイト内に参加申し込みフォームを設置

①参加申込者に、セミナー招待メールを送付

②セミナー配信・視聴

◆セミナー進行(60~70分)

①開会(5分) = オリエンテーション(プログラム、質問方法など参加方法の説明)

②基調講演(10分) = 小紙記者によるテーマに沿った現状レポート

③メイン講演(20~30分)

④貴社プレゼン(10分)

⑤質疑応答(10分)

⑥閉会(5分) = 参加者アンケートの協力依頼



※貴社主催事業のLive配信なども可能となっております。

■A案:告知、集客とオンライン配信

- ①貴社セミナーなどのオンライン配信を承ります。
- ②記事掲載など告知と集客、参加者を募集いたします。

ご提案料金:500,000円(消費税別)

■B案:セミナーの企画と運営、オンライン配信

- ①基本構成に沿ったセミナーの企画と運営、オンライン配信を承ります。

ご提案料金:1,000,000円(消費税別)

■C案:セミナーの企画と運営、オンライン配信に加え、採録特集の掲載

- ①基本構成に沿ったセミナーの企画と運営、オンライン配信を承ります。
- ②セミナーの報告特集(モノクロ1ページ)を掲載いたします。

ご提案料金:3,000,000円(消費税別)

■実績報告②～第2回建設未来フォーラム

実施日時：2021年4月15日（木） 13:30～14:30

テーマ：時代の要請に応えるビジネスの創生

プログラム：

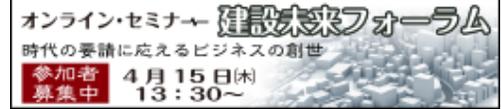
①講演：「急激な成長ステージを迎えた電子契約」

小倉隆志氏（リーテックス社長）

②ディーアンドエスプレゼンテーション：瀧向雄一氏（ディーアンドエス代表）

参加者：約50名（申込：約80名）

主催：日刊建設工業新聞社 協賛：ディーアンドエス



▼3月19日付掲載社告

第2回「建設未来フォーラム」4月15日開催
リーテックス 小倉隆志社長が講演

日刊建設工業新聞社は第2回「建設未来フォーラム」を4月15日にオンラインで開催します。デザイン設計事務所のディーアンドエス（東京都港区、瀧向雄一社長）との共催。

テーマは「時代の要請に応えるビジネスの創生」。電子契約サービスを開発したリーテックスの小倉隆志社長を講師に招き、社会的課題に着目し、独自の視点・手法で電子契約サービスをつくり出した背景やサービスの特徴を紹介します。併せて多様な働き方に呼応したプロジェクト「Finity」も披露します。

参加申し込みは4月14日まで当社ホームページの専用サイト(<https://www.le-techs.jp/maint/>)へ。

▼4月19日付掲載報告記事

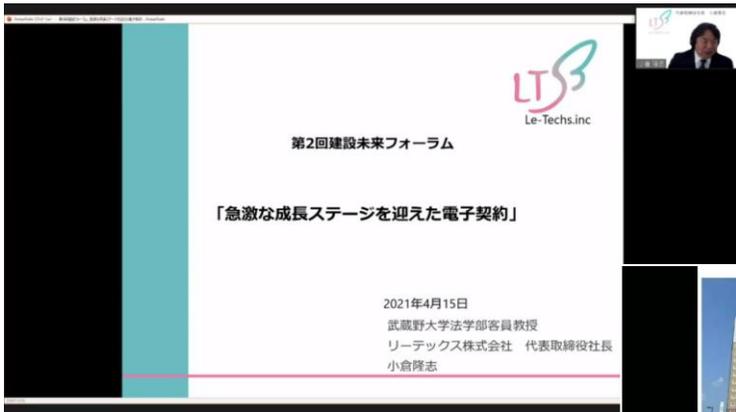
電子契約システム
開発背景など紹介
本紙建設未来フォーラム
リーテックス社長の講演

日刊建設工業新聞社は、デザイン設計事務所ディーアンドエス（東京都港区、瀧向雄一社長）の協賛で15日に「第2回建設未来フォーラム」をオンラインで開催した。写真、約70人が参加した。

テーマは「時代の要請に応えるビジネスの創生」に設定。金融や法務関連のサービスを展開するリーテックス（同新宿区）の小倉隆志社長らが取り組み内容を紹介した。

電子契約システムを開発した背景や特徴を披露した小倉社長は、「コロナウィルス対策で一挙に注目の的となった電子契約ではあるが、成長ステージを迎えたばかりであり、今後進化していく」と述べた。

ディーアンドエスの瀧向社長は、インテリア・建築のデザイン設計チーム「FINITY（ファイニティ）」を紹介。フリーランスが中心のファイニティは、多様な働き方に呼応するとともに、クライアントの多様なニーズに応えるためのプロジェクト」と自社の強みをアピールした。



■ 実績報告③ ～ 第3回建設未来フォーラム

実施日時：2021年9月10日（木） 13:30～14:30

テーマ：新現場力～新たな仕事の取り組み。各地現場に即時に情報を届ける、最新BtoBアプリの活用
プログラム：

- ①現状レポート：遠藤局長（日刊建設工業新聞編集局長）
- ②講演「ICTを活用した新現場力による現場改革－i-Conの新たな展開（New i-Con）－」
尾澤卓思氏（日本建設情報総合センター理事）
- ③アプリプレゼンテーション「各地現場～BtoBアプリ」
高橋知久氏（アプリマーケティング本部）

参加者：約300名（申込：約380名）

主催：日刊建設工業新聞社 協賛：ヤプリー

本日の要旨

i-Conの拡充

DXとは：企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、デジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基本に、業務プロセス、ビジネスモデルを革新するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を革新し、競争上の優位性を確立すること
引用：「デジタルトランスフォーメーションを推進するためのガイドライン Ver1.0」経済産業省

建設生産性の向上 + コロナ禍以降
・BCP
・新常态（ニューノーマル）での働き方

↓

ICTを活用した新現場力による現場改革
i-Conの新たな展開(New i-Con)

「新現場力～新たな仕事の取り組み」

各地現場に即時に情報を届ける、最新BtoBアプリの活用

voopli for Business

▼ 8月23日付掲載社告

建設未来フォーラム 9月10日開催

JACICの尾澤理事が講演

日刊建設工業新聞社は9月10日、スマートフォンアプリ開発のヤプリー（東京都港区、庵原保文社長）と共同で「第3回建設未来フォーラム」をオンラインで開催します。

テーマは「新現場力～新たな仕事の取り組み」。講演者は日本建設情報総合センター（JACIC）尾澤卓思理事。生産性向上や働き方改革などに向けて現場改革が進められる中、改革に向けた取り組みを支援するJACICの最新施策と合わせ、BtoBアプリを活用した企業支援を展開するヤプリーの取り組みを紹介します。

参加申し込みを9月9日まで専用サイト（<https://www.decn.co.jp/mirai>）で受け付けます。

日刊建設工業新聞社



■ 実績報告④ ～ 第4回建設未来フォーラム

実施日時：2021年9月22日（水） 13:30～14:40

テーマ：BIMで活用できる外国人材の採用と可能性について

プログラム：

- ・講演①「BIM活用の将来展望とミャンマー人材育成・活用について」
山際東氏（ビム・アーキテクト代表取締役）
- ・講演②「ミャンマー人材の特色と可能性について」
田口芳弘氏（NAP代表理事）
- ・対談：日本ミャンマー交流協会ヤンゴン日本語教室人材と田口代表理事

参加者：約100名（申込：約110名）

主催：日刊建設工業新聞社 協賛：一般社団法人NAP



▼ 9月13日付掲載社告

第4回建設未来フォーラム

オンラインで22日開催

日刊建設工業新聞社は22日に「第4回建設未来フォーラム」をオンラインで開催します。テーマは「BIMで活用できる外国人材の採用と可能性について」。外国人の就職支援に長年携わってきた一般社団法人NAPの田口芳弘代表理事（山際東ビム・アーキテクト代表取締役）を講師に迎え、BIMと外国人材に関わる取り組みなどを紹介します。参加申し込みを17日まで専用サイト (<https://www.dnec.co.jp/mirai>) で受け付けます。

「BIMと外国人材」テーマに取り組み紹介



■ 実績報告⑥ ～ 第6回建設未来フォーラム

実施日時：2021年11月18日（木）13：30～15：00

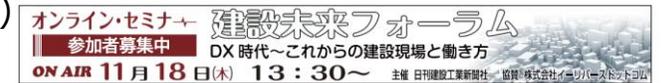
テーマ：DX時代～これからの建設現場と働き方

プログラム：

基調講演

- ① 中谷晃治氏（大成建設株式会社建築総本部生産技術イノベーション部部長 兼 先端ICT推進室長）
- ② 蟹澤宏剛氏（芝浦工業大学建築学部建築学科教授）
- ③ 大澤一夫氏（国土交通省大臣官房審議官（不動産・建設経済局担当））
- ④ 高橋巧氏（株式会社イーリバースドットコム代表取締役社長）

▼バナー広告



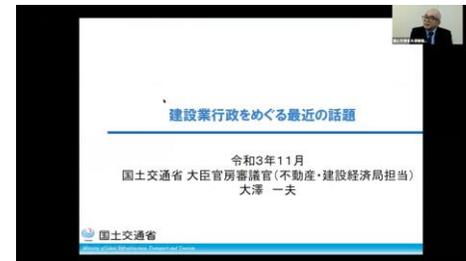
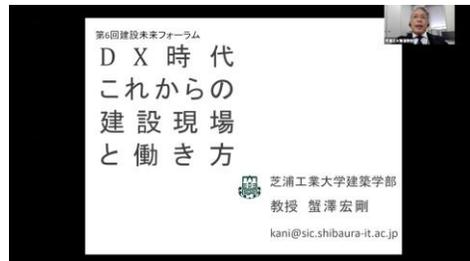
パネルディスカッション

- ① 中谷大成建設生産技術イノベーション部部長
- ② 蟹澤芝浦工業大学教授
- ③ 大澤国交省官房審議官
- ④ 東修平（株式会社イーリバースドットコム経営戦略室）

ファシリテーター：遠藤奨吾（日刊建設工業新聞社編集局長）

参加者：約360名（申し込み510名）

主催：日刊建設工業新聞社 協賛：イーリバースドットコム



■ 実績報告⑦ ～ 第7回建設未来フォーラム

実施日時：2022年1月27日（木）13:30～14:30

テーマ：BIMで儲ける仕組みづくりを徹底解説

プログラム：

講演「BIMで儲ける仕組みづくりを徹底解説」 上嶋泰史氏（U's Factory 代表取締役）

参加者：約230名（申し込み320名）

主催：日刊建設工業新聞社

▼2021年12月20日付掲載社告

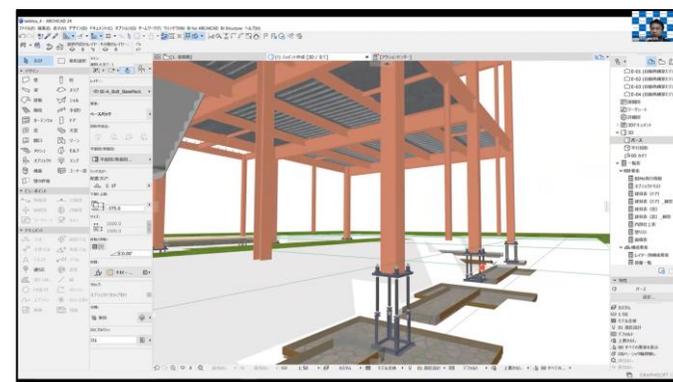
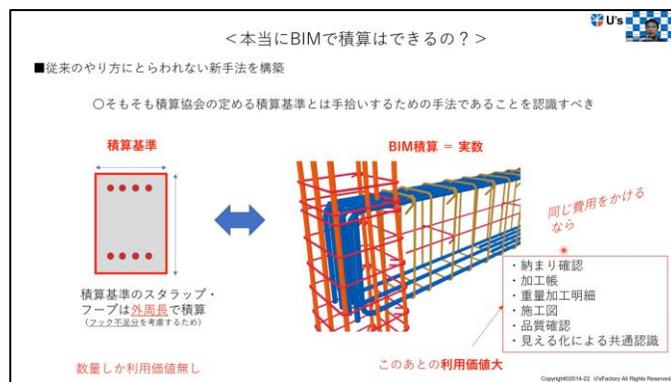


第7回建設未来フォーラム
1月27日オンライン開催

BIM
関連サービスの活用術紹介

日刊建設工業新聞社は2022年1月27日にオンラインで「第7回建設未来フォーラム」を開催します。テーマは「BIMで儲ける仕組みづくりを徹底解説」。U's Factoryの上嶋泰史社長が講師を務め、30社以上のゼネコンが導入している同社のBIM関連サービスの活用術を紹介いたします。

参加申し込みを同1月26日まで専用サイト(<https://www.deen.co.jp/mirai>)で受け付けます。



実施日時：2022年4月18日（月）13：30～14：40

テーマ：後継者や事業継承でお悩みの経営者必見！次世代のために検討すべき事業継承・M&Aを活用した成長戦略とは？

プログラム：

第一部「建設業界トレンドと急増するM&A」

- ①「マクロからみた建設産業」講師：牧野洋久（日刊建設工業新聞社編集局部長）
- ②「ミクロからみた建設業界 急増する建設業界M&A」
講師：前川拓哉氏（日本M&Aセンター業界再編部 ディールマネージャー）

第二部「M&Aを実施した企業セッション」

- 株式会社サンオリエント 磯崎慎一様
- 株式会社高翔 中間秀一様
- 前川拓哉（日本M&Aセンターディールマネージャー）
- ファシリテーター：牧野洋久（日刊建設工業新聞社編集局部長）

参加者：約130名（申し込み179名）

主催：日刊建設工業新聞社 協力：日本M&Aセンター

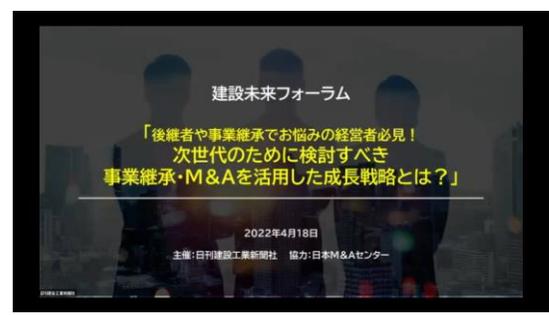
▼3月25日付掲載社告

4月18日に建設未来フォーラム
事業継承、M&Aテーマに業界動向解説

日刊建設工業新聞社は4月18日に「第8回建設未来フォーラム」をオンラインで開催します。テーマは「次世代のために検討すべき事業継承・M&Aを活用した成長戦略とは？」。日本M&Aセンターと共同で行います。M&A（企業の合併・買収）で「事業継承」を成功させた関係者をゲストに迎え、事業継承の業界動向やM&Aのポイントなどを分かりやすく解説していきます。参加申し込みは4月16日までに専用サイト(<https://www.deen.co.jp/mirai>)で。

▼バナー広告

オンラインセミナー **建設未来フォーラム**
参加者募集中 次世代のために検討すべき事業継承・M&Aを活用した成長戦略とは？
ON AIR 4月18日（月）13：30～
主催 日刊建設工業新聞社 協力 日本M&Aセンター



■ 実績報告 ～ 第9回建設未来フォーラム

実施日時：2022年5月24日（火）13:00～14:30

テーマ：建設産業の未来と建設DX

プログラム：

第一部：基調講演「建設産業の未来」

講師：藤井聡氏（京都大学大学院工学研究科教授）

第二部：講演「建設現場のコミュニケーションDX」

講師：横井太輔氏（株式会社LisB 代表取締役）

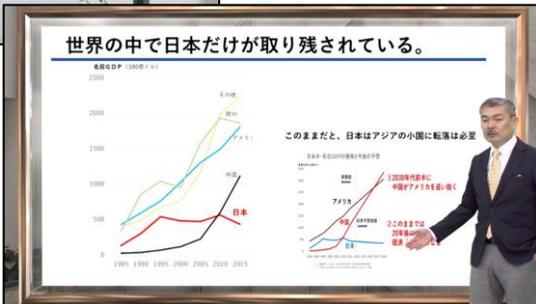
第三部：対談「建設産業の未来と建設DX」

出演：藤井聡氏、横井太輔氏

ファシリテーター：遠藤奨吾（日刊建設工業新聞社編集局長）

参加者：約480名（申し込み約700名）

主催：日刊建設工業新聞社 協賛：LisB



▼4月14日付掲載社告

日刊建設工業新聞社は現場の業務改善やデジタル化を支援するLisB（東京都千代田区、横井太輔社長）と共同で、「第9回建設未来フォーラム」を5月24日にオンラインで開催します。

藤井京大大学院教授が講演

テーマは「建設産業の未来と建設DX」。藤井聡京都大学大学院工学研究科教授を講師に招き、国づくりや建設産業の将来展望について語ってまいります。LisBが提供する建設現場のビジネスチャットを活用した業務ソリューションも紹介します。

参加希望者は同23日までに専用サイト(<https://www.decn.co.jp/mirai>)から事前登録が必要です。

建設未来フォーラム
5月24日開催

実施日時：2022年5月27日（金）13：30～14：40

テーマ：「SDGsで世界をつなぐ」出版記念 ODAにおけるSDGsへの取り組み
プログラム：

第一部：講演「ウイズコロナでのODA事業の現況と今後」

講師：山田順一氏（JICA副理事長）

第二部：講演「SDGsとODA 取り組みの現状と課題」

講師：松山剛士氏（JICA企画部イノベーション・SDGs推進室長）
辻研介氏（JICA民間連携事業部次長）

参加者：オンライン約110名、JICA本部5名（総申し込み140名）

主催：日刊建設工業新聞社 協力：国際協力機構（JICA）

▼4月14日付掲載社告

新刊『SDGsで世界をつなぐ』
27日に発行記念セミナー

日刊建設工業新聞社は、新刊『SDGsで世界をつなぐ—ODAを活用したビジネス展開の可能性』の発行を記念したセミナーを27日、オンラインと会場聴講（東京都千代田区）のハイブリッド形式で開催します。

セミナーの講師は、本書の編者である国際協力機構（JICA）の山田順一副理事長、監修を務めたJICAイノベーション・SDGs推進室の松山剛士室長、政府開発援助（ODA）やSDGs（持続可能な開発目標）ビジネスの現状や今後の展望などを語ってまいります。参加は無料。申し込みは23日までに専用サイト（<https://www.dccn.co.jp/mirai/>）で。



■ 実績報告～第10回 建設未来フォーラム

実施日時：2022年6月9日（木）13：30～14：30

テーマ：建設業に待ち受ける2024年問題。押さえるべき労基署対策の傾向とポイント

プログラム：

第一部：講演「建設業に待ち受ける2024年問題！」

更に労基署重点取組業種となった建設業。今後の課題とその対応策すべて教えます！」

講師：馬場栄氏（社会保険労務士法人ヒューマンリソースマネジメント代表社員・特定社会保険労務士）

第二部：講演「KING OF TIME for おまかせ はたラクサポートを活用した建設業の業務効率化」

講師：松本洋太氏（KING OF TIME for おまかせ はたラクサポート 販売支援担当）

参加者：約250名（申し込み約340名）

主催：日刊建設工業新聞社 協賛：東日本電信電話

▼4月28日付掲載社告

日刊建設工業新聞社はクラウド型勤怠管理システムを手掛けるNTT東日本と社会保険労務士法人ヒューマンリソースマネジメントと共同で、「第10回建設未来フォーラム」をオンラインで6月9日に開催します。

6月9日に建設未来フォーラム

勤怠管理の取り組みなど紹介

テーマは「建設業に待ち受ける2024年問題。押さえるべき労基署対策の傾向とポイント」。特定社会保険労務士の馬場栄氏による講演のほか、建設産業での勤怠管理に関する取り組みなどを紹介します。

参加は無料。6月6日までに専用サイト (<https://www.decn.co.jp/mirai>) で事前登録が必要です。

馬場特定社労士・原社労士（元労基署監督官）共著
労基署は見逃さない 社長、その労務管理はダメです。

労務管理はダメです
労務管理はダメです

参加特典
書籍プレゼント!!

毎年の労働基準行政傾向を知るには・・・

地方労働行政運営方針
厚生労働省から、定期監査における全国的な方針を策定し、この内容に各都道府県毎に重点施策を決定する
令和4年度地方労働行政運営方針は3月29日に発表済

各都道府県労働局行政運営方針
地方労働行政運営方針を基に、各都道府県局内の管内事情に即した重点課題・対応方針などを盛り込んだ行政運営方針を策定し、効果的な行政運営を図る

従来の勤怠管理方法

出勤管理
出勤場の配布 → 日々の出勤報告 → 各業務の印取 → 不備・不正の検定 → Excelに転記 → 集計作業 → 給与計算ソフトにデータ入力

休暇管理
出勤場の配布 → 休暇申請書の入力 → 各業務の印取 → 不備・不正の検定 → Excelに転記 → 集計作業 → 給与計算ソフトにデータ入力

残業管理
出勤場の配布 → 残業申請書の入力 → 各業務の印取 → 不備・不正の検定 → Excelに転記 → 集計作業 → 給与計算ソフトにデータ入力

▼6月13日付掲載報告記事

日刊建設工業新聞社は9日、クラウド型勤怠管理システムを手掛けるNTT東日本とヒューマンリソースマネジメントと共に「建設未来フォーラム」をオンラインで開催し、時間外労働の罰則付き上

**建設業2024年問題テーマ
未来フォーラムに250人**

「建設業に待ち受ける2024年問題」をテーマに開催し、NTTの松本洋太氏が販売支援を担当するクラウド勤怠管理システム「KING OF TIME for おまかせ はたラクサポート」などの事例を踏まえ、法改正への対応の必要性と勤怠管理のシステム化のメリットを説明。自社で提供する「給与・サービス」の強みについて「勤怠時間に含まれる移動時間の入力、把握が簡易にできるなど、働き易い労務管理を実現している」とアピールした。

限規制の適用開始を見逃さずと訴えた。

「建設業に待ち受ける2024年問題」をテーマに開催し、NTTの松本洋太氏が販売支援を担当するクラウド勤怠管理システム「KING OF TIME for おまかせ はたラクサポート」などの事例を踏まえ、法改正への対応の必要性と勤怠管理のシステム化のメリットを説明。自社で提供する「給与・サービス」の強みについて「勤怠時間に含まれる移動時間の入力、把握が簡易にできるなど、働き易い労務管理を実現している」とアピールした。

■ 実績報告～第11回 建設未来フォーラム

実施日時：2022年9月6日（火）13:30～14:30

テーマ：基礎から学ぶ助成金・補助金活用術

プログラム：

講演「基礎から学ぶ助成金・補助金活用術」 講師：佐々木章氏（ナビット助成金事業部）

参加者：約90名（申し込み約130名）

主催：日刊建設工業新聞社 協力：ナビット

▼4月28日付掲載社告

9月6日に建設未来フォーラム

日刊建設工業新聞社は助成金・補助金・給付金等の最新情報紹介サービス「助成金なう」を運営するナビットと共同で、「第10回建設未来フォーラム」を9月6日にオンラインで開催します。テーマは「基礎から学ぶ助成金・補助金活用術」。建設産業を対象に助成金や補助金を活用する際のポイントなどを分かりやすく解説します。

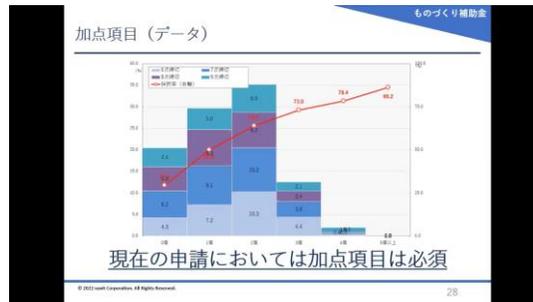
参加は無料。9月5日までに専用サイト(<https://www.decn.co.jp/mirai>)で事前登録が必要です。

助成金・補助金の活用術テーマ



補助金と助成金の違いとは？①

補助金 経済産業省 企業向け 審査あり 約1ヶ月 中企士	↔	助成金 厚生労働省 社員向け 審査なし 約1年間 社労士
--	---	--



建設業・工務店のものづくり補助金活用事例

株式会社 双葉建設コンサルタント

事業計画

マルチコンピューターによる写真測量及び航空レーザーデータを使用した計測技術の更なる向上

概要

現場地や各料面での測量において、人が直接現場に立ち入ることなく、効率よく精度の高い計測を行うための計測装置として、マルチコンピューター（UAV）とTLSを導入した。UAVの操作訓練、性能の検証、3Dデータのクラウドでのデータ共有および解析結果を掌握した。UAVによるデジタル写真測量とTLSによるデジタル計測の組み合わせを行うことで、安全に効率よく、画像や映像データから現場地の具体的な状況把握が可能になり、緊急時でもリアルタイムな対応が可能になった。

実績報告～第12回建設未来フォーラム

実施日時：2022年10月13日（木）13：30～15：00

テーマ：データ活用でネクストステージへ～竹中工務店と清水建設の取り組み～
プログラム：

第一部；講演「建設業においてデータ活用がもたらすメリットと業務適用の実例について」

講師：親盛晃司氏（セールスフォース・ジャパン Tableau 事業統括部
エンタープライズ営業第一本部 第一営業部 部長）

講師：小松優太氏（セールスフォース・ジャパン Tableau 事業統括部
ソリューション・エンジニアリング本部 ソリューションエンジニア）

第二部：講演「過去300年のデータを使い次の100年をつくる

～建物の設計プロセスにおけるゆっくりで楽しいデータ利用～」

講師：上杉崇氏（竹中工務店 東京本店 設計部 設備部門 チーフエンジニア）

第三部：講演「データ活用により新規事業の推進～Tableau×AWSによる発電施設監視データの見える化」

講師：村澤一樹氏（清水建設 LCV事業本部 運営管理部 発電グループ 主任） ▼11月21日付採掲載録特集

参加者：約380名（申し込み約540名）

主催：日刊建設工業新聞社 協賛：セールスフォース・ジャパン Tableau

▼9月13日付掲載社告

建設未来フォーラム 10月13日開催
データ活用でネクストステージへ

日刊建設工業新聞社は10月13日、オンラインセミナー「第12回建設未来フォーラム」を、セールスフォース・ジャパンと共同で開催します。

テーマは「データ活用でネクストステージへ。竹中工務店と清水建設の取り組み」。竹中工務店の上杉崇（東京本店設計部設備部門チーフエンジニア）、清水建設の村澤一樹（LCV事業本部運営管理部発電グループ主任）の両氏が登壇し、それぞれデータ活用の取り組み事例などを紹介します。セールスフォース・ジャパンからはデータ分析ツール「Tableau」の活用方法を説明します。

視聴は無料。参加申し込みは専用サイト（<https://www.decn.co.jp/mirai/>）へ。

竹中工務店、清水建設が事例紹介

第12回 建設未来フォーラム

オープニング「建設業においてデータ活用がもたらすメリットと業務適用の実例について」

セールスフォース・ジャパン Tableau 事業統括部

デモについて

- 登場人物と設定
 - 講師 親盛 晃司氏
 - 各案件ごとに個別にExcelで管理しており、既存案件全体の傾向分析ができていないため、データに基づいた新規案件獲得の戦略が立てられていない
 - Tableauで戦略を共有
 - 講師 小松 優太氏
 - 既存案件のスケジュールが確率で確認できていないため、新規の案件が受注可能か判断できていない
 - Tableauで戦略を共有
- ポイントでお伝えする流れ
 - 現状把握 (売上計画)
 - 原因分析 (地域/業種)
 - 課題立案 (地域/業種)
 - 課題ポイント
 - ・データから傾向のある新規案件獲得戦略の立案
- ポイント
 - ・受注する案件と既存案件の競合性の可視化
 - ・スペシャリストの稼働状況把握とアサイン計画

Shimz デジタルゼネコン

【ものづくりの心】を継いだ「デジタルゼネコン」

デジタルな 建築サービス提供

DX銘柄2021 Digital Transformation

DX銘柄2022 Digital Transformation

清水建設

「データ活用でネクストステージへ～竹中工務店と清水建設の取り組み～」

過去300年のデータを使い次の100年をつくる
～建物の設計プロセスにおけるゆっくりで楽しいデータ利用～

データ活用により新規事業の推進
～「Tableau」×AWSによる発電施設監視データの見える化～

業務改革実現し、ビジネスに新たな価値を創出

データドリブンデザインビルドに展開

全発電所の稼働状況を一望で把握

Tableauが問題解決、ビジネスチャンスを見えるをサポート

「データカルチャー」データと人の可能性を引き出す。

実績報告～第13・14回建設未来フォーラム

実施日時：第13回：2022年10月27日（木）13：30～15：00
 第14回：2022年11月29日（火）13：30～15：00

テーマ：IT導入補助金活用セミナー インボイス導入まであと1年！建設産業DX推進～インフラDXからオフィスDXへ

サブテーマ：第13回＝1次下請けの対応 第14回＝個人事業主の対応

プログラム：

- 第一部：講演「建設業界におけるバックオフィスDXの重要性」
 講師：高田守康氏（日本マルチメディア・イクイップメント株式会社 代表取締役）
- 第二部：講演「インボイス制度のポイントと実務への影響」
 講師：菊池典明氏（辻・本郷税理士法人DX事業推進室／税理士）
- 第三部：IT導入補助金の概要と利用方法（IT導入補助金事務局）

参加者：第13回＝約120名（申込：約150名） 第14回＝約90名（申込：約110名）

主催：日刊建設工業新聞社

▼10月17日付掲載社告

建設未来フォーラム 27日開催
インボイス導入のポイント解説

日刊建設工業新聞社では27日、オンラインセミナー「第13回建設未来フォーラム」を開催します。テーマは「IT導入補助金活用セミナー インボイス導入まであと1年！建設産業DX推進～インフラDXからオフィスDXへ」。建設産業に精通した高田守康（日本マルチメディア・イクイップメント社長）、菊池典明（辻・本郷税理士法人DX事業推進室、税理士）両氏を講師に迎え、管理部門のDX化の必要性和インボイス対応推進についてポイントを解説。IT導入補助金の有効活用策についても紹介します。

参加は無料。申し込みは専用サイト (<https://www.deen.co.jp/mirai/>) へ。

バックオフィスDXを推進する環境整備

- RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）
- AI-OCR
- ノーコード/ローコード開発環境
- 電子申請クラウドサービス
- 電子契約クラウドサービス
- 電子経費清算クラウドサービス
- デジタルインボイスサービス
- EDI（電子商取引）
- FinTech（オンラインレンディング）

インボイス制度対応のポイント

インボイス制度の導入により、売手（売手行）である建設請負業者が発行するインボイス（請求書）を受領することが買手（買手行）である建設発注者の要件として求められることとなります。売手（売手行）／買手（買手行）のインボイス制度への対応のポイントは下記のとおりです。

- 2023年3月末までに「建設請負業者発行事業者登録」申請・申請を行う
- 既用設備で「建設請負業者」に一部項目を対応する必要があります
- 発行したインボイス（請求書）の写しの保存

※免税事業者の場合、登録を要しないが特記

IT導入補助金とは

▼12月26日付掲載採録特集

建設未来フォーラム「IT導入補助金活用セミナー」
インボイス導入まであと1年！建設産業DX推進
～インフラDXからオフィスDXへ～

講師 林 徹氏
 講師 菊池 典明氏
 講師 高田 守康氏

IT導入補助金の活用方法

免税事業者は経済的な競争力向上を

経理DXでバックオフィスの高率化を

企業経営のみらいを変えるデジタル化、始めてみませんか？

【デジタル経営チェック】 【6sigma導入】 【IT導入補助金の活用】

0570-444-434

実績報告～特別版 現場DXセミナー～

実施日時：2022年11月8日（火）13:00から14:30

テーマ：現場DXセミナー～日本を元気にする“現場力”を語る

プログラム：

第一部：基調講演「日本を元気にする建設産業」

講師：藤井聡氏（京都大学大学院工学研究科教授）

第二部：講演「建設現場のコミュニケーションDX」

講師：横井太輔氏（L is B 代表取締役）

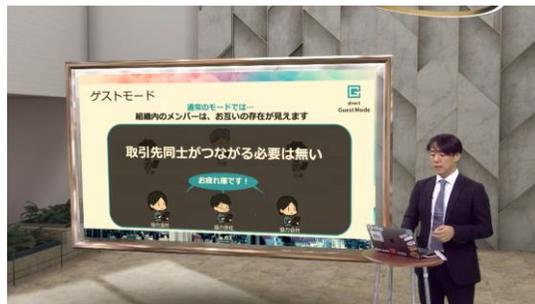
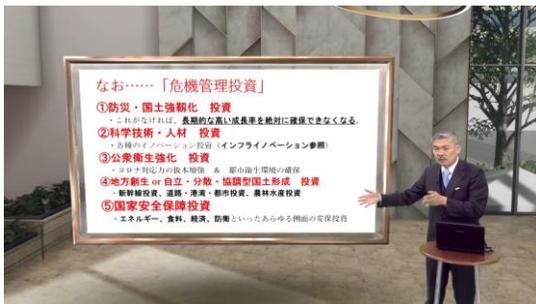
第三部：対談「日本を元気にする“現場力”」

出演：藤井聡氏（京都大学大学院工学研究科教授）、横井太輔氏（L is B 代表取締役）

ファシリテーター：牧野洋久（日刊建設工業新聞社編集局部長）

参加者：参加約280名（申込380名）

主催：日刊建設工業新聞社 協賛：L is B



▼バナー広告



▼新聞広告

現場DXセミナー～日本を元気にする“現場力”を語る

ご好評をいただきました5月に引き続き、独自の視点から国づくりや建設産業に提言されている藤井聡 京都大学大学院教授をゲストに迎え、「日本を元気にする“現場力”」をL is B 横井太輔 代表取締役とともに語ります。

藤井 聡氏 × 横井 太輔氏

2022年11月8日（火）13:00～14:30

【参加（視聴）方法】Zoomを利用したオンライン・セミナー
【参加者】定員300名（事前登録制、先着順、参加費無料）

【プログラム】

- 第一部：基調講演（40分）「日本を元気にする建設産業」
講師：藤井聡氏（京都大学大学院工学研究科教授）
- 第二部：講演（30分）「建設現場のコミュニケーションDX」
講師：横井太輔氏（株式会社 L is B 代表取締役）
- 第三部：対談（20分）「日本を元気にする“現場力”」
出演：藤井聡氏（京都大学大学院工学研究科教授）、横井太輔氏（株式会社 L is B 代表取締役）、ファシリテーター：牧野洋久（日刊建設工業新聞社編集局部長）

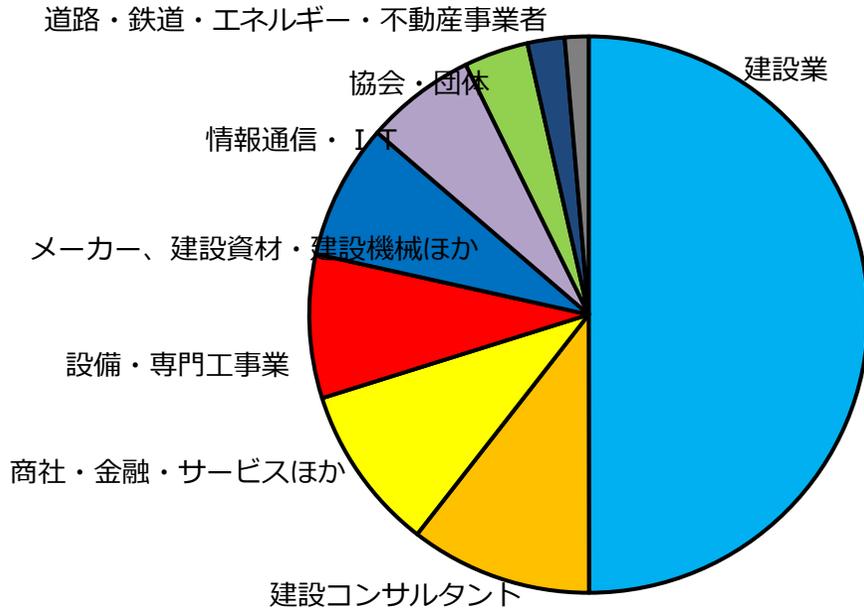
お申し込みはこちら
<https://decc.seminarone.com/genbaryoku/event>

お問い合わせ
mirai@decc.co.jp TEL. 03(3433)7154

【主催】日刊建設工業新聞社 【協賛】株式会社L is B

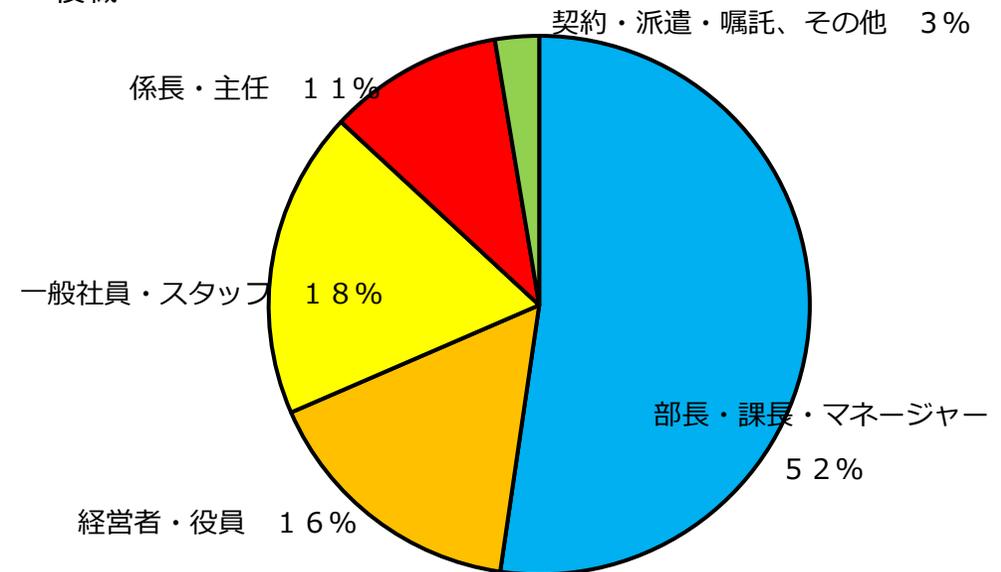
10回開催した2022年の全参加者のうち、所属・役職をお答えいただいた2,981名の業種と役職を集計したものととなります。

業種



建設業	50%
建設コンサルタント	11%
商社・金融・サービスほか	10%
メーカー、建設資材・建設機械ほか	8%
設備・専門工事業	8%
情報通信・IT	6%
協会・団体	4%
道路・鉄道・エネルギー・不動産事業者	2%
その他（行政、研究・教育関連）	1%

役職



■ 建設業、建設コンサルタント、設備・専門工事業、メーカー、建設資材・建設機械が全体の約8割弱を占めており、建設産業の情報源となっているといえます。

■ 商社、情報通信・ITなどの参加は、建設以外からの参入が増えている現状を示している顕著な現象と捉えています。

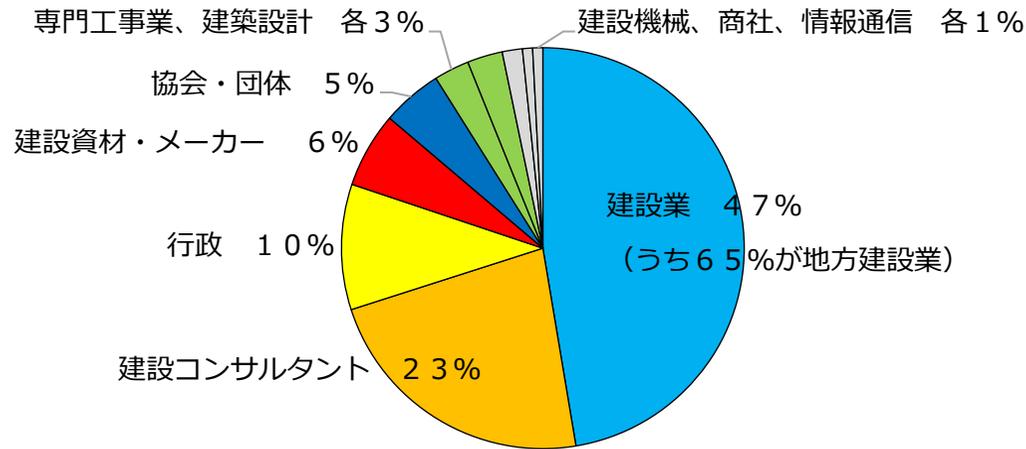
■ 経営者・管理職の参加が約7割、時間的な制約が少ないオンライン・セミナーの特性が生かされた結果です。

「建設未来フォーラム」に関するアンケート調査報告 ①～メールマガジン受信者属性

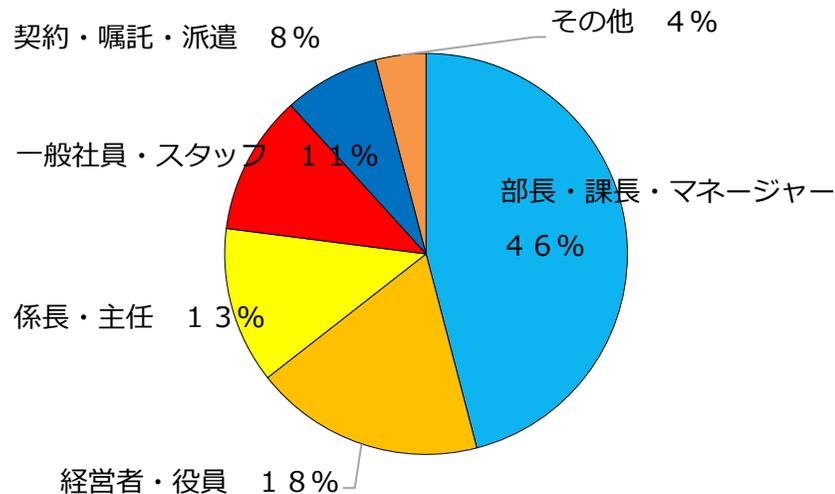
回答者の7割が建設業・建設コンサルタント、地方建設業が全体の約3割を占めており、メールマガジンとオンライン・セミナーが有益な情報源と認識されているといえます。意思決定権者の経営層と管理職が全体の3分の2を占めています。

■ 日刊建設工業新聞メールマガジン配信者を対象にした調査
 【期間】2022年6月15日～24日 【エリア】全国
 【機関・レターヘッド】日刊建設工業新聞社
 【対象および方法】日刊建設工業新聞メールマガジン配信者を対象に、パソコンを利用したウェブ調査
 【回収サンプル数】300人

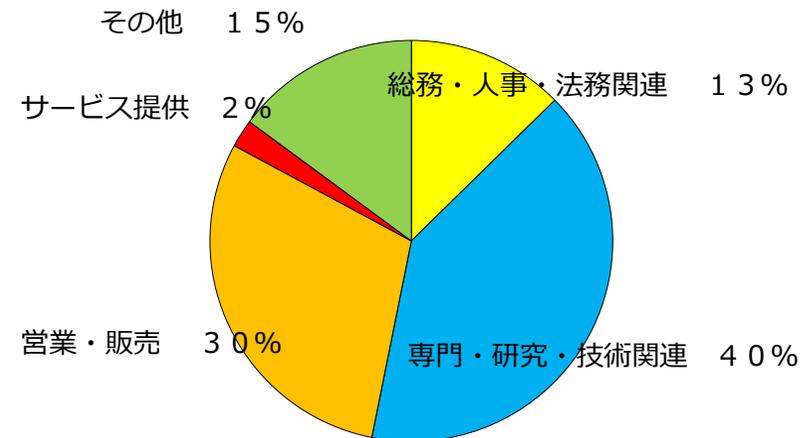
業種



役職



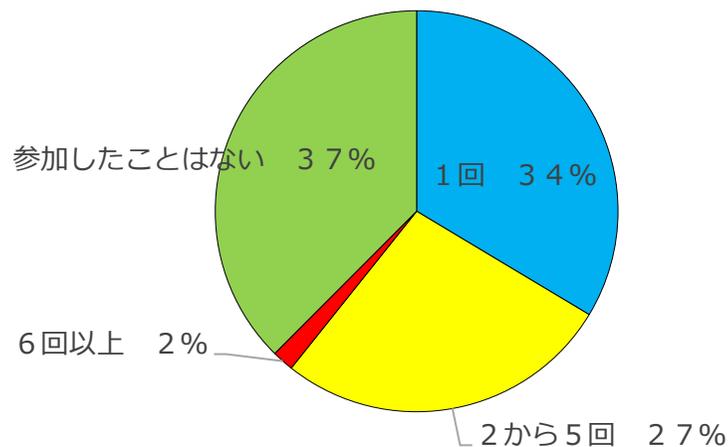
職種



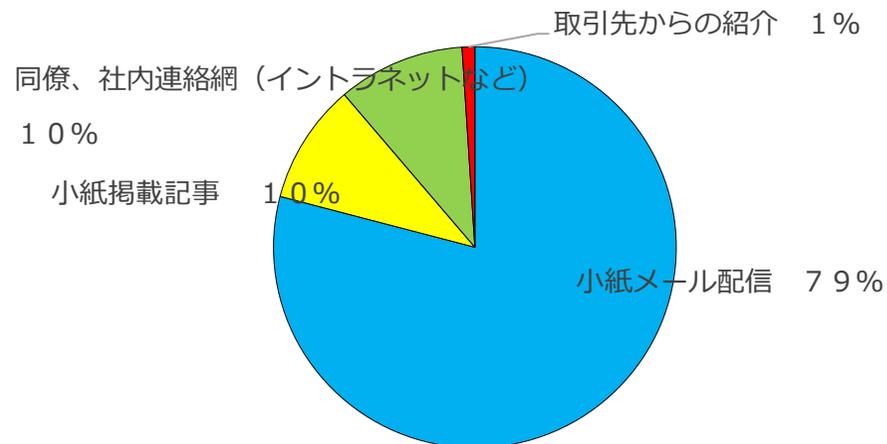
「建設未来フォーラム」に関するアンケート調査報告 ②～メールマガジン受信者の参加者動向

アンケート回答者の6割強が参加経験があり、うち半数が複数回参加しています。高い満足度が示す通り、セミナーの内容が業務に生かせる、業務に必要な情報を伝えているといえます。

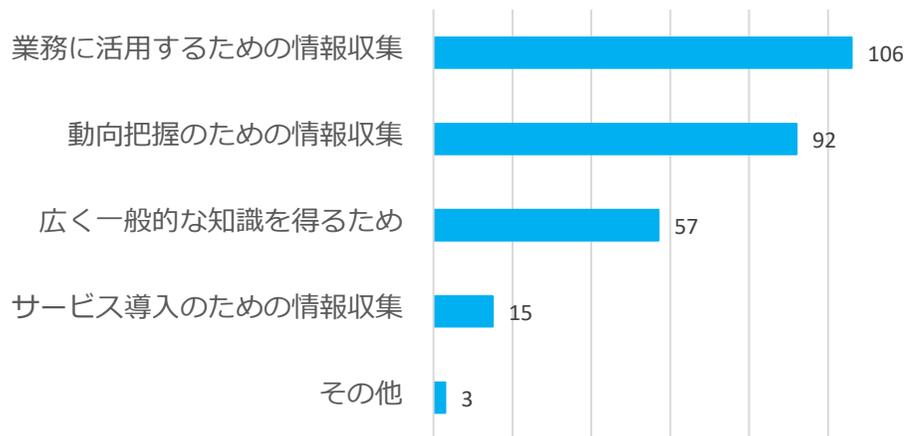
参加回数



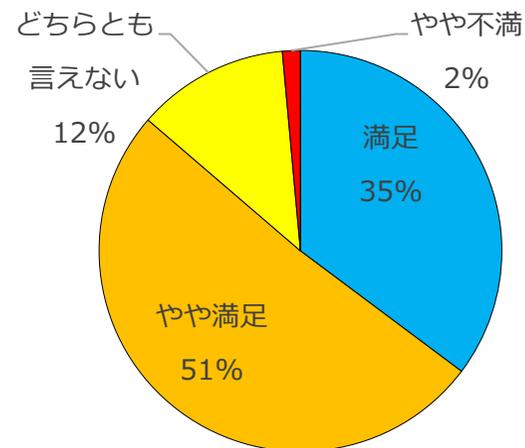
認知経路



参加目的



満足度



「建設未来フォーラム」に関するアンケート調査報告 ③～フリーアンサー 1

■ 感想、要望

- ・今後の動きがわかるので、こういったセミナーは非常に助かります。
 - ・常に新しい情報発信の場の一つとして期待しております。今後ともよろしく願いいたします。
 - ・興味深く拝聴いたしました、移動の必要無しに有意義なセミナーを受講できる取組は素晴らしいと思います。今後も継続して頂けると有り難く思います。
 - ・地方部にいる技術屋にとってこのような機会を得ることができることは非常にうれしいことであるとともに、技術習得するために参考になりました。
 - ・新技術と言うことで、どれも非常に興味深い講演内容でした。開催時期、全体の時間、各講演の時間配分も丁度良く、次回は対面式で受講させていただきたいと思いました。
 - ・専門の講師から最新の情報を得られ、非常に貴重な時間でした。機会があれば今後も参加したいと考えております。ありがとうございました。
 - ・毎回参加しています。セミナーの内容が豊富且つ高度で十分満足している。
 - ・建設業界での動向やニーズを捉えてこれからも情報発信下さり、建設機械メーカーとして出来ることが無いか勉強させていただければと考えております。今後のセミナーにも期待しております。
 - ・テーマの選定が現在の状況にあっています。
 - ・働き方改革に関連し残業上限規制にどう対応していくか、今一つ分かりづらい現場でのDXについて簡単に理解できないか、事前に知っていれば是非セミナーを受けたかったです。
-
- ・時間は40～60分程度が間延びせずに良いと思いました。
 - ・短時間なので聴きやすいのだが、勤務中なので運が悪いと聴けない。2週間ほどでいいのでアーカイブがあるともっと参加することができると思います。
 - ・短時間開催の方がよい。セミナー修了後、10日間程度オンデマンドで見られると良い。
 - ・一定期間経過すれば、バックナンバーを見られるようにしてほしい。
 - ・対面形式のセミナーに比して質問がづらい。
 - ・どのように改善されたかや、改善するかなどの課題などは良いが、特定の商品のPRのような内容のセミナーもありがっかりする。協力される会社が固定化されているように思う。
-
- ・土木学会CPDに登録したいので、受講証明書の発行をお願いしたい。
 - ・CPD単位取得のために、建設関連団体の認定を受けて頂けると、有難い。
 - ・セミナー資料は毎回ほしいです。
-
- ・発注者の動向を踏まえた情報発信を望みます。
 - ・今後も建設インフラの将来を考える上で有意義な内容となることを望む。
 - ・建設資材高騰による社会情勢の中、中小企業の建設会社が生き残っていくためにはどうすればよいかのようなテーマや今後の建設業界の流れを知りたい。
 - ・ICT関係だけでなく幅広い技術や情報の提供をお願いします。
 - ・BIM/CIMやDXなどが追い求めるもの、行きつく先の姿を明確に示せる人が出ているのだろうか？ 東大の有名な先生や鹿島の技師長が出演して、思いつき話してもらわない限り見えないのではないだろうか。ベンダーやデジタル商社では無理だろうと考える。

「建設未来フォーラム」に関するアンケート調査報告 ③～フリーアンサー 2

■ 希望するテーマなど

建設業の動向・新技術

- ・建設業の今後の動向
- ・新技術に関する講義を聞いてみたい
- ・政府が進める官民共同事業・コンセッション事業の展望。
- ・リニア新幹線、外環道、高速道路大規模更新などプロジェクトに関するセミナー
- ・維持管理、防災、シールドトンネルに関すること
- ・具体の事例をより多く入れて欲しい。

建設DX、BIM/CIM

- ・各社のDXへの取り組み、事例の紹介
- ・現状の課題と将来像について正しく認識できるセミナーを期待します。
- ・BIM/CIMやVR・ARの活用事例、無人化施工、AI活用の動向などを聞いてみたいです。
- ・BIMのISOについての業界の動きが知りたいです。
- ・DXを展開していき、ビジネスプロセスやビジネスモデルを変革させていくシナリオ例
- ・ICT施工、ICT設計、3D関連の動向
- ・BIM/CIM・DX・ICT施工など これからの建設業界に必須となってくる事業について解りやすい講習会を希望。現状はデータ操作など特定の（資格等を持ったオペレータなど）作業領域となっており全体的な普及がイマイチ感じ取れないため
- ・今後の建築DXの動き。建設分野以外の異業種とのコラボが今後進展すると思うので、目から鱗が落ちるような意外な話を聞いてみたい。
- ・昨今の状況からどうしてもITとの関連でのテーマが多くなるが、その技術を活かすエリア、基盤、人材等の視点から未来への展開に関心
- ・ITベンダーの講演

SDGs、カーボンニュートラル・環境問題

- ・低炭素社会カーボンニュートラルの先進的取り組みについて
- ・国として建設業の未来の方針を解説する講演などを期待する。
- ・法改正の情報や建設業でのSDGsの取組み事例など知りたいです。

働き方改革・人材関係

- ・建設業週休2日制の導入移行
- ・働き方改革についての講演であれば、「建設業」に特化したものにして欲しい。タイトルだけではなく、内容も。
- ・残業問題は中小企業にとっては喫緊の課題です。行政や大手企業からの依頼により残業の負担を強いられていることもあるかと思えます。その辺を行政、大手企業がどう取り組んでいるのか、どう考えているのか、そういった目線でのセミナーの機会があれば宜しくお願い致します。
- ・（建設業に待ち受ける2024年問題に参加し）一般業種と比べ労働環境の遅れを痛感している建設業の問題に新たな時代への取り組みが必要と考えた。
- ・建設業において、安全日誌のサイン（手書き）をデジタルで可能とさせることが認められるのか、労働基準監督署の意見が知りたい。設計段階でのBIM作成後、確認申請までの動きがどこまでいっているのか知りたいです。
- ・コンプライアンス、働き方改革、法改正の最新情報、工事安全書類の定義
- ・人材確保、技術伝承をお願いします。
- ・新卒、中途を問わず選ばれる企業になるには
- ・資材高騰対策・職人労働者不足対策など

その他

- ・建設機械と防衛産業とのかかわり
- ・異業種とのコラボレーション
- ・ダバズ会議とグレートリセット
- ・中小建設業・専門工事業の海外展開事例
- ・新規事業取組みに対する考え方・方向性及び事例
- ・ODA